

地域住民との連携による農空間保全

たいへいじ

太平寺地区農空間保全協議会（堺市）

- 太平寺地区では、水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、農業従事者の高齢化や後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- 令和2年度に太平寺地区農空間保全協議会が設立され、関係自治会、水利組合、JA、幼稚園、近隣高校等、地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】		
取組面積	8.0ha	[田6.0ha 畑2.0ha]
農業用施設	開水路 3.1km 0.0km	パイプライン 農道 2.1km ため池 2箇所
主な構成員	水利組合、自治会、農協、幼稚園 高校	
交付金	220千円 (R2)	

活動開始前の状況や課題

- 従前より地元農家による営農が行われていたが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題
- 農道・水路・ため池等、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題



取組内容

- 草刈りや水路の泥上げに加え、農道の補修や水路の目地、ポンプ補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 地元幼稚園(太平寺幼稚園)や近隣高校(福泉高校)との年間を通じた農業体験(田植え、稲刈り、芋作付け、芋掘り)等、都市農村交流にも積極的に取り組んでいる。



取組の効果

- 水利組合が中心となって老朽化した水路やため池施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
- 太平寺幼稚園及び福泉高校の農業体験や収穫祭を地域農家と地域住民の共同により年間を通じて実施し、農業への理解促進、交流が図られている。

